

理科

| 理科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> ア 知識及び技能 | <input checked="" type="checkbox"/> イ 思考力、判断力、表現力等 |
| 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な基本的な技能を身に付ける。 | 理科の見方・考え方を働かせながら、知識を活用して考えたり、様々な手段で表現したりする力を身に付ける。 |

| | 生徒の学力の状況(課題) | 授業における具体的な手だて | 手だての実施時期 | 成果検証(2月) |
|------|---|--|----------|----------|
| 第1学年 | <input type="checkbox"/> ア 用語や法則性について、繰り返し学習を行うことで定着しつつある。四則計算が苦手な部分的な理解になってしまう生徒も在籍している。 <input checked="" type="checkbox"/> イ 自分の言葉で説明したり、その知識を応用して考えたりすることに課題がある。日常生活との関りを自然に結び付けられる生徒は少ない。 | <input type="checkbox"/> ア こまめに振り返りを行い、基本的な内容について、定着を図る。計算問題など、基礎的な知識の理解を進める上で必要な四則計算の定着を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> イ ロイロノートを活用して、学習した内容を自分の言葉で説明して振り返る習慣を付ける。また、日常生活と関連した問題などの演習を行っていく。 | 年間を通して | |
| 第2学年 | <input type="checkbox"/> ア <input checked="" type="checkbox"/> イ 基本的な知識については、振り返りの学習を通して概ね理解できている。自分の言葉で説明したり、その知識を応用して考えたりすることに課題がある。 | <input type="checkbox"/> ア こまめに振り返りを行い、基本的な知識の定着を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> イ ロイロノートを活用して、学習した内容を自分の言葉で説明して振り返る習慣を付ける。 | 年間を通して | |
| 第3学年 | <input type="checkbox"/> ア <input checked="" type="checkbox"/> イ 復習確認テストでは、全体の平均よりも4点ほど低かった。基本的な用語は理解しているが、計算や作図に課題がある。これまでの知識を応用して考える問題について、苦手意識をもつ傾向がある。 | <input type="checkbox"/> ア 普段からこまめに小テストを行うことで知識の確認をしていく。 <input checked="" type="checkbox"/> イ 実験の考察を深く理解し、一つ一つの現象をつなぎ合わせるような授業展開を考えていく。さらに、問題演習を行い、反復して取り組む。 | 年間を通して | |

| ■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について | ■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について |
|---|--|
| 1年 ロイロノートを活用し、自分の考えを他者の考えと比較・共有しながら学ぶ。【重点：協同・個別】 2年 ロイロノートを活用し、実験・観察の記録や考察などを共有しながら学ぶ。【重点：協同・個別】 3年 毎時間ロイロノートを活用し、個別に問題に対する解答を指導したり、個々の考えを共有させることで、協働的な学びを行う。また、実験・観察の記録にも利用する。【重点：協同・個別】 | 1年 毎授業内での各単元の用語の確認を行う。振り返りテストを実施する。 2年 授業ごとに振り返りを行うとともに、小单元ごとに小テストを行う。 3年 小单元ごとに小テストを行い、知識の定着を確認する。定期考査の振り返りを行い、自分の考え方や取り組みを分析させる。 |